

氏名	山本 英子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士(保健学)				
学歴	2006年群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本新生児看護学会、日本小児保健協会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、千葉看護学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	2018年版 系統別看護師国家試験問題集(第106回看護師国家試験 解答と解説)	共著	医学書院	石井邦子,川村紀子, <b>山本英子</b> , 他53名	2017.4
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	分娩介助演習における「学生の気づきを促す模擬産婦フィードバックマニュアル」の評価と改良	共著	第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市	○石井邦子,北川良子,林ひろみ,鈴木幸子, <b>山本英子</b> ,森美紀,青柳優子,岡津愛子	2017.12
2	妊娠期にある夫婦の夫婦関係満足度と妻への夫の関わりとの関係	単著	第32回日本助産学会学術集会, 横浜市	○ <b>山本英子</b>	2018.3
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	母性看護学Ⅱ	2017.11	女性の運動支援について、具体的な方法例をあげて説明した。		
2	母性看護学Ⅲ	2017.11	視聴覚教材等を用いて、分娩期にある対象者(母子・家族)のイメージ化や理解が深まるように講義を行った。		
3	周産期のケア	2017.10.	ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含めて講義を行った。		
4	分娩期のケア	2017.4~2017.8	助産師としてのキャリアデザインを意識し、診断・ケア技術能力が向上するよう講義を行った。また、ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含め講義を行った。自己学習用のe-learning教材を作成した。		
(2) 演習					
1	母性看護学Ⅲ	2017.11~2018.1	演習内容を自己学習で深められるよう視聴覚教材を作成、活用した。		
2	周産期のケア	2017.10.	模擬妊婦となり、妊娠期の運動を実際に体験することで、具体的な運動内容・運動強度・留意点、運動による快感情等の理解を促した。		
3	分娩期のケア	2017.4~2017.8	診断・ケア技術、コミュニケーション、チームワーク、自己評価の能力が向上するよう演習を行った。実習室の開放、指導担当教員の配置、自己学習用のDVD作成を行い、自己練習・学習の環境を整えた。		

(3) 実習			
1	母性看護学実習	2017.5～2017.8	3年次生を対象に、産科病棟を使用して、実習指導を行った。産褥期・新生児期の変化、母乳育児支援、母子相互作用、退院後の生活について、とくに理解が深まるよう支援した。
2	総合実習	2017.7	4年次生の助産系学生を対象に、産科外来・病棟を使用して、3名の実習指導を行った。妊娠期から産褥期の継続性を意識し、個別性の高い看護が提供できるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ	2017.8～2017.10	4年次生の助産系学生を対象に、産科病棟を使用して、3名の実習指導を行った。入院の判断から分娩介助まで実施し、継続性と個別性の視点をもてるよう支援した。
4	IPW実習	2017.1	4年次生6名の施設担当・教員ファシリテータとして、学生が積極的な参加、活発な討議ができるよう関わった。
(4) 論文指導			
1	卒業研究	2017.3～2018.1	学部生3名の研究指導を行った。
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	ベビーマッサージ	越谷市児童館 ヒマワリ	ベビーマッサージ&エクササイズ ～親子で楽しくスキンシップ～ 2017.5～2017.10
2	女性のための健康講座	埼玉県立大学	女性のための健康講座－アロマやエクササイズを活用したセルフケアのすすめ－ 2017.10.
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	日本新生児看護学会	学術集会企画運営委員	2016.7～2017.10
2	越谷市男女共同参画推進委員会	副会長	2017.7～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学科 総務委員		
2	学科 就職支援プロジェクトメンバー		
3	保健師助産師履修者選考委員会委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		